マイボトルを使おう

◇マイボトルはやっています

通学時に水筒を持っていく人も多いと思います。飲み物をいつでも飲めるように準備して、水分不足を予防することはとても大事です。もし外にいる間に、水筒が空っぽになっても、安心して水をつめ直すことができたら便利ですね。

全国の水道局や市役所などでは、水道水を水筒（マイボトル）につめられる装置（ディスペンサー）を、まちの中に設置する取組みが広がっています。これは私たちにとって便利である上、地球環境を守る効果もあるのです。

なるほどポイント

神奈川県・鎌倉駅前の
ウォーターステーション

東京都の
Tokyowater Drinking Station

名古屋市の名城金鯱水

福島県・伊達市の
DATE TAP-WATER STATION

これまでも、公園などで水を飲める蛇口などはありましたが、ボトルディスペンサーはボトルへの給水を想定したものです。各地の水道局や環境関係の部局などで、屋外や市役所などの施設への設置が進められています。

◇プラスチックごみを減らそう

ペットボトルなどの材料であるプラスチックへの対応が、地球全体で大きな問題になっています。プラスチックをつくるためには、資源と大きなエネルギーが必要です。その上、使われたあとのプラスチックをきちんと集めて、再利用できればいいのですが、不適切に捨てられることで、まちや海を汚したり、ごく小さなはへん（マイクロプラスチック）になって、海の生き物の体の中に入ってしまう事態も確認されています。めぐりめぐって、それを食べる人間にもえいきょうがあるのではないかと心配されています。

欧米5か国は、2018年に「海洋プラスチック憲章」という約束を結びました。プラスチックの不必要な利用をへらし、使う場合もしっかりと回収・リサイクル・管理し、地球への負担を減らそうといったものです。

日本でレジ袋が有料になって、エコバッグを使おうと呼びかけられているのも、プラスチック使用を減らすための取組みの一つです。同じように、マイボトルを使って、ごみを出さないことも、環境に貢献できる取組みです。

◇せっかくだから水道水

日本では水道水を飲むのがあたりまえですが、じつは、世界で水道水をそのまま飲める国は8か国しかありません（※）。せっかくですから、蛇口からマイボトルに、水道水をつめるのはどうでしょう。

水道水は地面の中を張りめぐらせた管路を通って送られ、蛇口をひねると出てきます。容器やふた、ラベルなどのごみをださずに手に入れることができます。また、毎日水道局の人が厳しい検査をしているので、安全性もばっちりです。それなのに、1リットルあたり1円もしないというお得な面もあります。

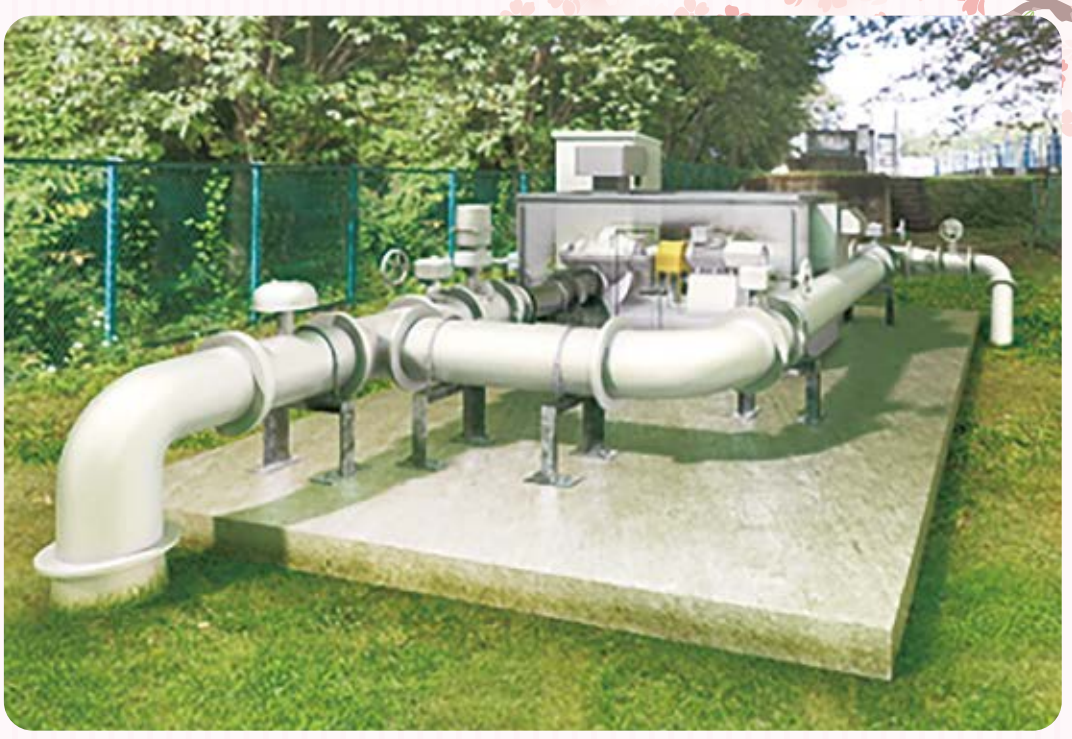
蛇口やディスペンサーからマイボトルに水道水を入れて使うのは、みんながができる、便利で安全、環境にやさしい取組みです。

※国土交通省「令和元年版 日本の水資源の現況」より

なるほどポイント

水道水づくりの中でも、環境にやさしい取組みが進められています。その一つが小水力発電です。水道管を流れている水の勢いを使って水車を回して発電するので、発電時のCO_2排出がない上、未利用のエネルギーを発電に有効活用できるのが大きな魅力です。

小水力発電による電力は「クリーンエネルギー」と呼ばれます。



写真提供：NJS